

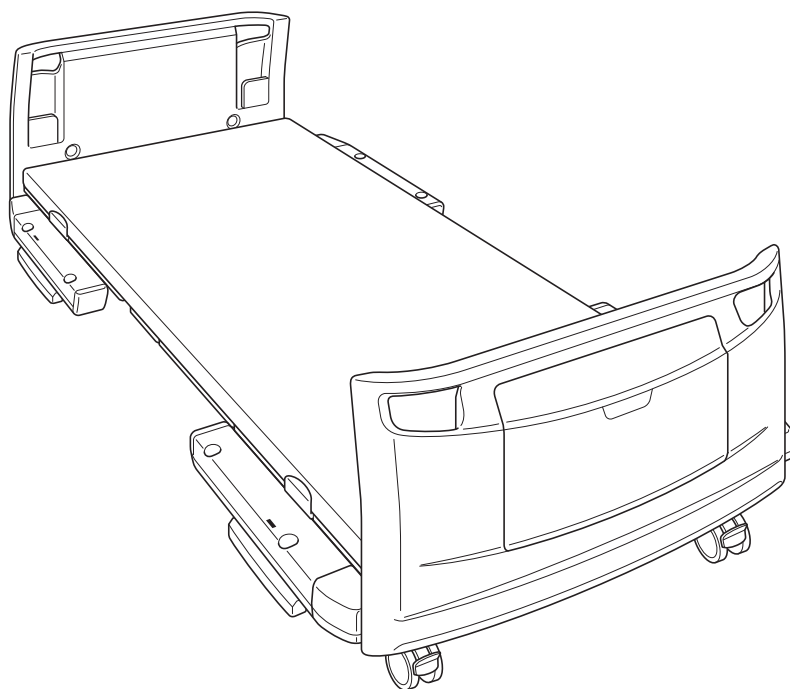


PARAMOUNT BED

取扱説明書

保証書付

KA-7900シリーズ



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

まえがき

このたびは、KA-7900シリーズベッド（以下、ベッド）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- ベッドを使用して療養する方ばかりでなく、付き添いの方にも正しく安全な取扱方法を説明してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

パラマウントベッド株式会社

7F10068200A1

14 緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。



停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「**13** 故障かな?」と思ったら(65～66 ページ)に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンター(78 ページ参照)までご連絡ください。



手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

1. 手動による背さげのしかた/戻しかた

背さげのしかた

- ① ベッドの電源プラグを、コンセントから抜いてください。
- ② ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ③ ヘッドボードを取外してください。(41 ページ参照)
- ④ 背ボトムと背あげリンクを支えてください。

使用する工具

ペンチ・プライヤー (小)・ドライバー



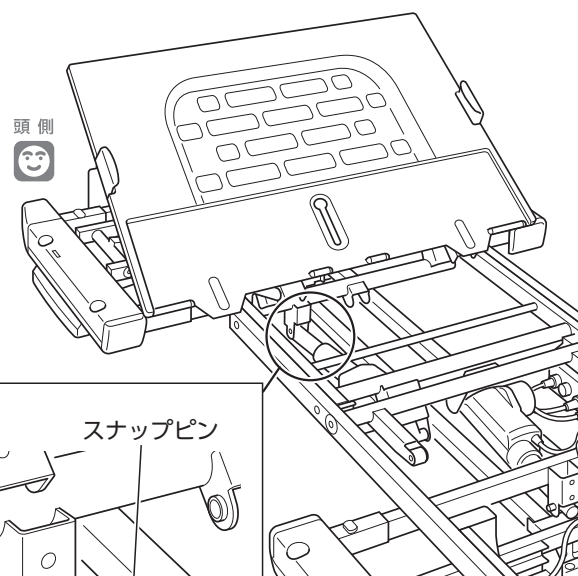
手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

14 緊急時のベッド操作のしかた

- ⑤ 背アクチュエーター先端の連結ピンについているスナップピンを取外してください。
- ⑥ 連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すと、背あげリンクが自由に動くようになります。

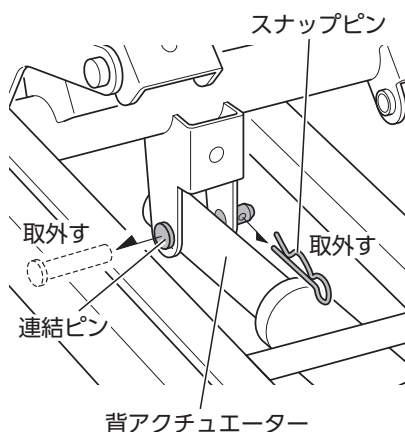
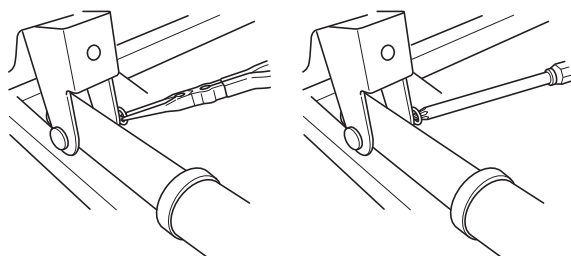


取外した連結ピンとスナップピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。



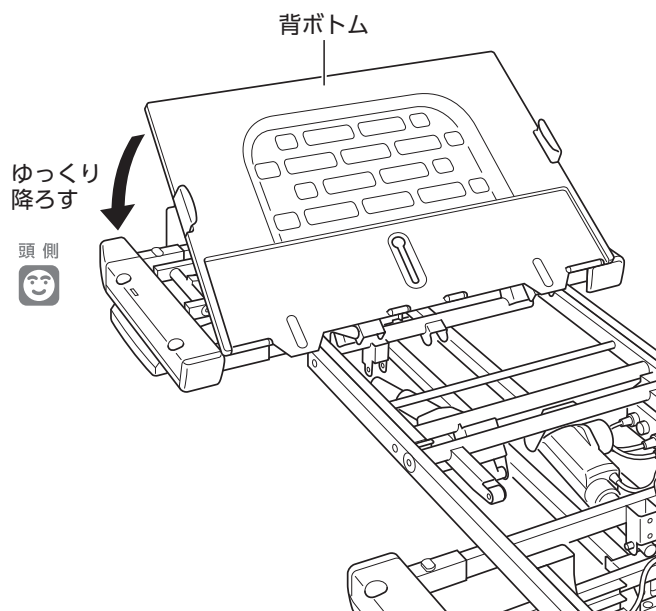
スナップピンの抜きかた

- ペンチ、プライヤー（小）ではさんで引っばるかドライバーの先で引っかけると取外しが容易です。



※作業をわかりやすくするために、膝・足ボトムは省略したイラストになっています。

- ⑦ 背あげリンクを降ろしてから、背ボトムをゆっくり降ろしてください。



- ⑧ ヘッドボードを取付けてください。(41ページ参照)



この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。

戻しかた



戻す際は、販売店にご依頼されることをおすすめします。

停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、74ページの「3. チェックシート」を参照して、点検を行ってください。

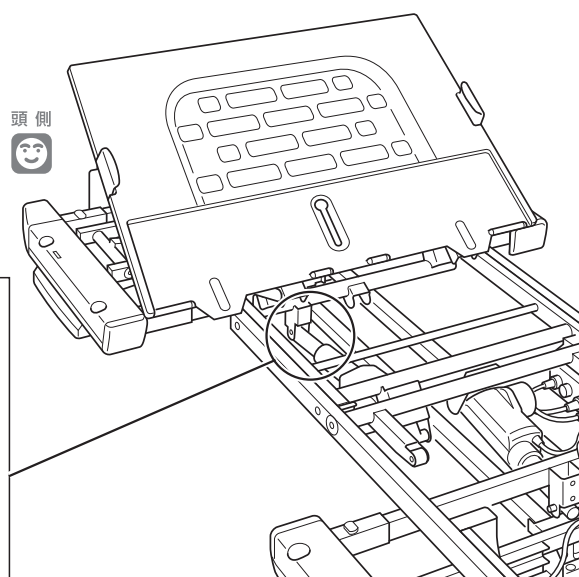
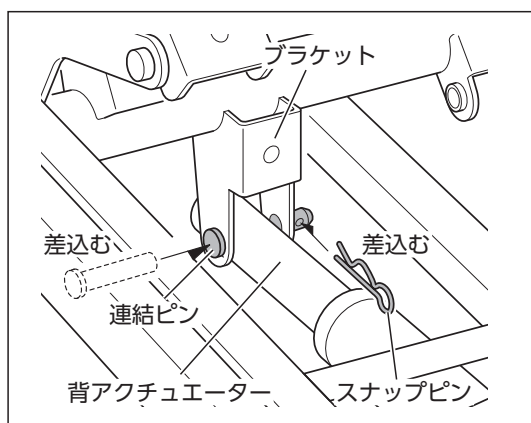
- ① ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ② ヘッドボードを取外してください。(41ページ参照)
- ③ 背ボトムと背あげリンクを持ち上げて、支えてください。



- ④ 背アクチュエーターを持ち、先端の穴とブラケットの穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んで、スナップピンで固定してください。



連結ピンとスナップピンは、手動で背あげしたときに取外したものを使用してください。



- ⑤ ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑥ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげてください。
- ⑦ ヘッドボードを取付けてください。(41ページ参照)

14 緊急時のベッド操作のしかた

2. スマートハンドルによるベッド操作のしかた

注意

- ハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。ハンドル操作中に誤ってベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。
- スマートハンドルの収納ケースはベッドに固定しないでください。収納ケースをベッドに取付けた状態でベッドを操作すると、ベッドやスマートハンドル・収納ケースが破損したり、故障したりするおそれがあります。

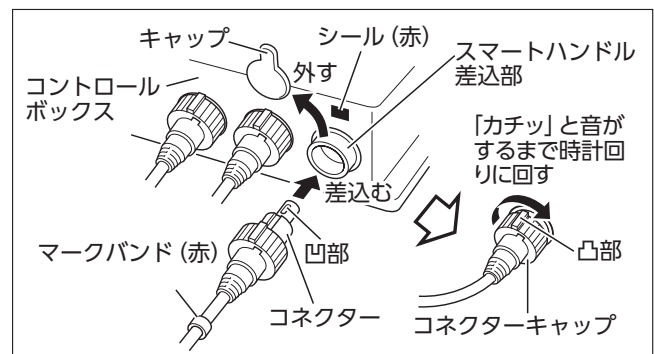


- スマートハンドル (KQ-P70S: 別売) をベッドに取付けることにより、「背あげ/背さげ」「膝あげ/膝さげ」「高さ(頭側)さげ」の操作を行うことができます。
- スマートハンドルの収納ケース内に、スマートハンドルの取扱説明書が同梱されています。そちらもあわせてご覧ください。
- スマートハンドルは停電時やベッドの故障※などの緊急時に、すぐに取り出せる場所に保管してください。
※故障内容によっては、ハンドルによる操作ができない場合があります。

ハンドルの取付けかた・取外しかた

【ハンドルの取付けかた】

- ① ベッドのコントロールボックスのスマートハンドル差込部(赤色)のキャップを取外してください。
- ② ハンドルのコネクターを、ベッドのコントロールボックスの差込部(赤色)に差込んでください。
- ③ コネクターキャップを「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。



【ハンドルの取外しかた】

- ① 使用後は取付けと逆の手順でハンドルを取外し、収納ケースに入れて保管してください。

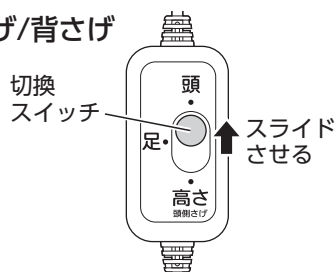


【ハンドルの取付けかた】①で取外したキャップは、コントロールボックス保護のために、必ず元通りに取付けてください。

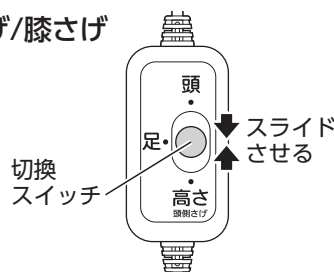
操作のしかた

- ① 切換スイッチを操作したい位置にスライドさせてください。

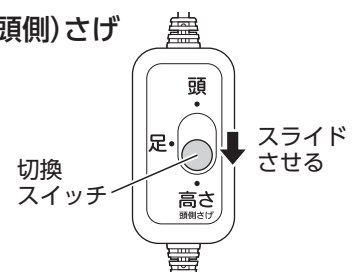
背あげ/背さげ



膝あげ/膝さげ

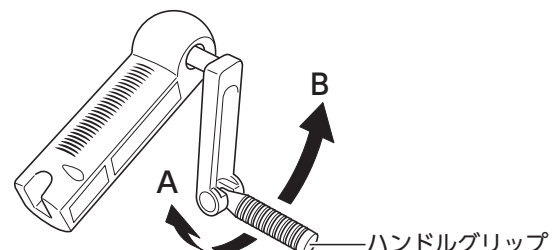


高さ(頭側)さげ



- ② ハンドルグリップを回すとベッドが動きます。

	ハンドルグリップを回す方向	
	A	B
頭	背があがる	背がさがる
足	膝があがる	膝がさがる
高さ	—	高さ(頭側)がさがる



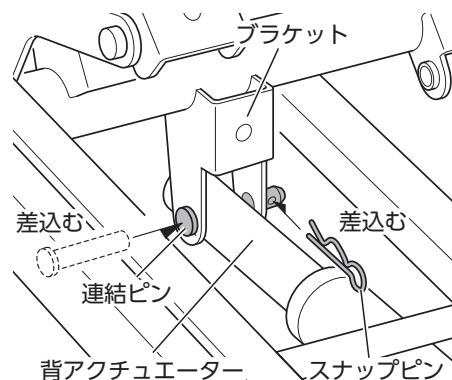
3. チェックシート

1 連結ピンの取付け

背アクチュエーター先端の連結ピンは、背アクチュエーター先端の穴とブラケットに差込まれていますか？

☐ はい

☐ いいえ ➡ 72 ページ参照

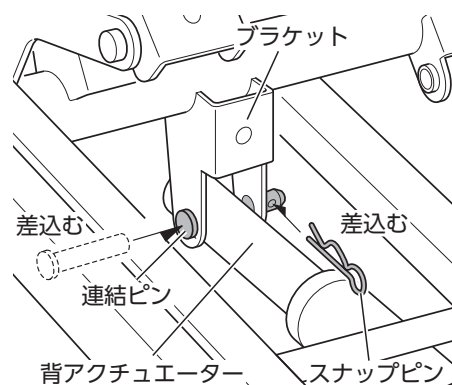


2 連結ピン・スナップピンの取付け

連結ピンにスナップピンが確実に差込まれていますか？

☐ はい

☐ いいえ ➡ 72 ページ参照



3 コード類の傷

プラグやコード類に傷などありませんか？

☐ ない

☐ ある ➡ 販売店またはパラテクノコールセンター(78 ページ参照)へ連絡

4 ボードの取付け状況の確認(頭側・足側)

- ボード取付金具がボード受金具にしっかりと入っていますか？
- ボードストッパーがボード受金具の穴に確実に掛かっていますか？
- いちじるしいがたつきがありませんか？

☐ はい

☐ いいえ ➡ 41 ページ参照

